

授業科目名	初等道徳教育論
科目番号	CB23681
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB 土1,2
担当教員	田中 マリア, 加藤 宣行, 山田 誠
授業概要	本授業では、道徳の時間と道徳教育の位置づけや意義を明確にし、それを踏まえてどのような道徳授業が子どもの心を育てるのかを、実践を通して、そのベースとなる理論を帰納的に明らかにする。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス「教育学の基礎的体系的知識」「教育学的実践力」
授業の到達目標（学修成果）	初等教育における道徳の時間の意味を理解するとともに、その指導法について実践的に学びながら、「特別の教科 道徳」と「道徳教育」の相互の関連連携の必要性を踏まえた、教育活動全体を見通した道徳教育にあたることのできる資質を養う。
授業計画	<p>学校教育活動全体で行われる道徳教育と授業として行われる道徳についておさえた上で、道徳の指導法について実践的に学ぶ。「特別の教科 道徳」と「道徳教育」の相互の関連連携の必要性を踏まつつ、具体的な指導方法や実践について学んでいく。</p> <p>第1回 ガイダンス(田中) 第2回 道徳教育の目的(田中) 第3回 道徳教育の意義(山田) 第4回 学習指導要領からみた道徳授業(山田) 第5回 発達段階別にみる道徳授業・内容項目の考え方(山田) 第6回 「道徳の時間」と道徳教育(山田) 第7回 言語活動・話し合い活動のさせ方(山田) 第8回 指導法1(資料をどのようにとらえるか・映像資料)(山田) 第9回 指導法2(授業研究)(加藤) 第10回 指導法3(授業参観)(加藤) 第11回 授業の裏付けとなる理論(加藤) 第12回 指導技術(板書、ノートのとらせ方、話し合いのさせ方)(加藤) 第13回 道徳資料の扱い方(副読本、メディア資料、自作)(加藤) 第14回 指導案作成(加藤) 第15回 模擬授業(山田) 第16回 諸外国の道徳教育(山田) 第17回 様々な指導法の取り組み(加藤) 第18回 演習(授業研究)(加藤) 第19回 昨今の課題(情報モラル教育、キャリア教育等との関連)(加藤) 第20回 まとめ(加藤)</p>
履修条件	
成績評価方法	課題やレポートの提出状況、模擬授業への準備・取り組み及び実践などで総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修	

方法	
教材・参考文献・配付資料等	1. 文部科学省『小学校学習指導要領解説道徳編』（東洋館出版社、2018年）
オフィスアワー等（連絡先含む）	田中マリア:人間系学系棟A507/オフィスアワー:応相談（事前にメールにて問い合わせること）
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	小学校教諭免許取得に向けて意欲的に学ぶこと。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	小学校，特別の教科 道徳，教育法